

指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	埼玉県産業文化センター
指定管理者	公益財団法人埼玉県産業文化センター
評価対象年度	令和元年度
施設所管課	産業労働政策課

評価項目	細項目	評価	コメント
利用者の 安心・安全、 平等利用の 確保	安全性の確保	A	事故なく安全に運営された。
	法令等の遵守	A	施設の法定点検等は、的確に行われた。
	平等利用の確保	A	条例に定める利用日等は遵守され、利用許可も適切に行われた。
施設の設置 目的の達成	産業振興事業の実施	A	県や商工団体等との協力体制のもと、令和元年度は第7回アニ玉祭など11事業を実施した。
	文化振興事業の実施	A	日フィルの演奏会(「第九」を含む)を定着させ、平均入場者数2,132人の人気事業としている。
	利用状況	A	新型コロナウイルスの影響により利用率が落ち込んだが、2月末時点においては大ホール、小ホール及び国際会議室のいずれも高い利用率を維持していた。
	適切な管理の履行	A	協定書や事業計画に基づき適切に行われた。
	財産の適切な管理	A	備品については、備品台帳との整合性を常に確認し、適切な管理が行われている。
	県内中小企業者、環境、障害者雇用等への配慮	A	業務委託契約の委託先については原則県内中小企業を指名選定対象とし、十分な配慮がなされた。
利用者サービスの向上	サービス内容の向上	A	施設利用受付及び自主事業入場券受付においてネット予約を活用し、利用者への利便性の向上を図った。
	利用者の満足度	A	2回実施された利用者アンケートにおいて、満足と回答した者の割合は第1回98.3%、第2回94.7%でいずれも高い割合となっている。
総合評価		A	高い水準で管理が行われている。

特記事項	特に評価すべき点	施設利用率においては、新型コロナウイルスの影響が及ぶ以前の2月末時点で大ホール93.1%、小ホール91.8%、国際会議室88.2%といずれも高い利用率を維持している。
	次年度に向けて改善が望まれる点	新型コロナウイルス感染症の影響により、次年度は利用率及び収支状況について悪化が見込まれる。そのため、感染症対策を万全に講じた状態で一層の利用者サービス向上を図りながら指定管理者の業務を実施し、安全・安心な施設運営の維持、向上に努める必要がある。